

多職種連携研修会の開催について（案）
－第 7 回在宅療養を支えるスタッフのための多職種連携研修会－

1 目的

救急隊の現場活動等への理解を深めるとともに、在宅医療・介護・救急に携わる職種が互いの役割や業務上の制約を理解し、本人の意思（D N A R・A C P）を尊重した支援につながる情報共有や緊急時の連絡体制について検討することで、意思決定支援における多職種連携の推進を図ることを目的とする。

2 研修会の必要性

- (1) D N A R 事案の増加と現場対応の複雑化
- (2) 多職種間の認識の違いや情報共有不足
- (3) 本人の意思を尊重するための連携強化

3 目標

- (1) 「救急隊現場活動プロトコル」を多職種と共有することで、D N A R 事案における救急隊の判断や対応を正しく理解できる。
- (2) 在宅医療・介護・救急の各職種が、お互いの実態や業務上の制約を理解し、顔の見える関係づくりと円滑な連携につなげることができる。
- (3) 本人の意思（D N A R・A C P）が救急現場で適切に共有・活用されるための情報共有のあり方を考えることができる。

4 研修日時

令和 8 年 1 0 月 9 日（金） 18：30～20：30

5 研修場所

呉市消防局講堂

6 参加者（定員 5 0 人）

在宅医，訪問看護師，ホームヘルパー，ケアマネジャー，地域包括支援センター職員，呉市消防局職員，その他テーマに関心のある方

7 研修内容

- (1) 救急隊現場活動プロトコル
 - ・心肺停止事案における標準的な活動
 - ・D N A R 情報を得た場合の対応
 - ・現場での判断の限界と課題
 - (2) 事例紹介
 - (3) グループワーク（多職種による意見交換）
 - ・D N A R・A C P の情報の共有方法について
 - ・緊急時の連絡体制について
- ※ 1 グループ 5 名で，多職種混合によるグループ編成とする
※ グループワークのファシリテーターは，呉市消防局職員が担う

〈タイムテーブル〉

時間		内容		進行
		1 ～ 5 G	6 ～ 1 0 G	
18:30- 18:35	5	開会 オリエンテーション		山口
18:35- 18:45	10	自己紹介 アイスブレイク	通信指令室見学	
18:45- 18:55	10	通信指令室見学	自己紹介 アイスブレイク	
18:55- 19:25	30	(1) 救急現場活動プロトコル ・心肺停止事案における標準的な活動 ・DNAR 情報を得た場合の対応 ・現場での判断の限界と課題 (2) 事例紹介		呉市 消防局
19:25- 19:50	25	グループワーク① テーマ「互いの実態を知り，相互理解を深める」		
19:50- 20:15	25	グループワーク② テーマ「DNAR・ACP の情報をどうつなぐか」 「緊急時の連絡体制を考える」		
20:15- 20:30	15	発表・全体共有		
20:30		閉会		山口

8 申込方法

WEB（Google フォーム）にて申し込み

9 評価方法

研修終了後に参加者アンケートを行い，目標への達成度及び研修会の効果や満足度を確認する。